

翻訳業界のリーディングカンパニーが業界基準を築く

株式会社 翻訳センター 平成23年3月期決算説明会

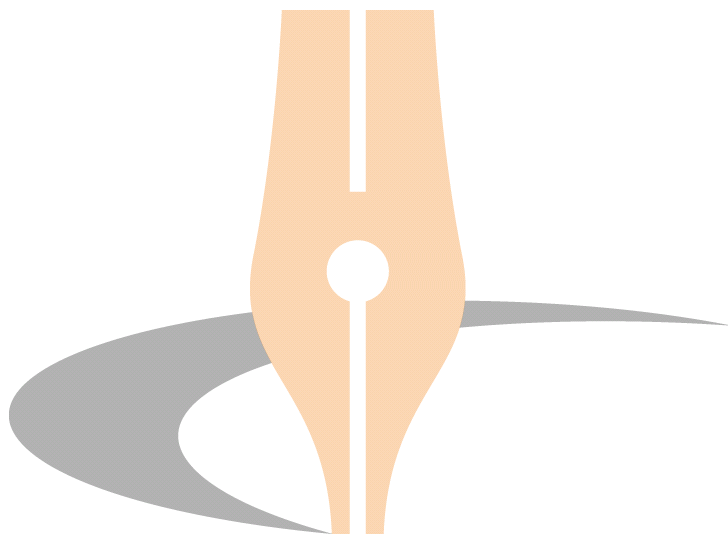
<http://www.honyakuctr.com>

平成23年5月19日

JASDAQ

証券コード:2483

I . 平成23年3月期実績



1. 概 要
2. 四半期業績推移
3. 分野別動向
4. 登録翻訳者動向
5. 損益計算書
6. 貸借対照表
 - ・キャッシュフロー計算書

1. 概 要

単位: 百万円、%、円

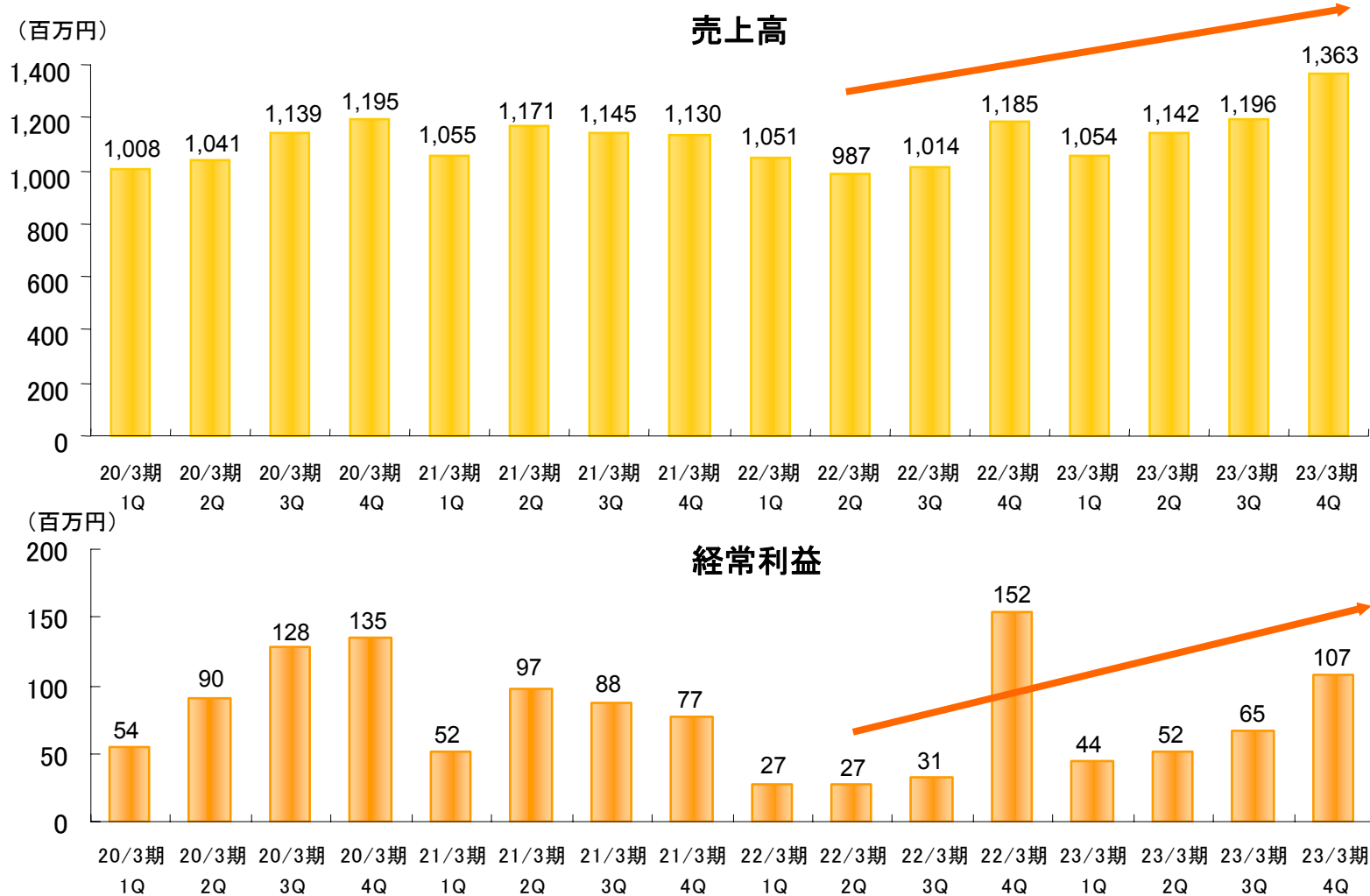
	H22/3期	H23/3期	増減	伸率
売上高	4,239	4,756	517	12.2
営業利益	236	279	42	18.0
経常利益	239	270	31	13.0
当期純利益	105	139	34	32.3
一株当たり純利益	8,064	8,891		
一株当たり配当金	4,000	4,000	—	—

※本文中の百万円未満は、全て切り捨てて表示しております。

※US1ドル=87.32円で換算しております。

■ 工業分野の回復と米国子会社をはじめとするグループ会社の収益向上が寄与し、増収増益

2. 四半期業績推移



■ H22年3月期第3四半期で底入れ、景気後退前の水準に回復

3. 分野別動向

① 売上高

単位: 百万円、%

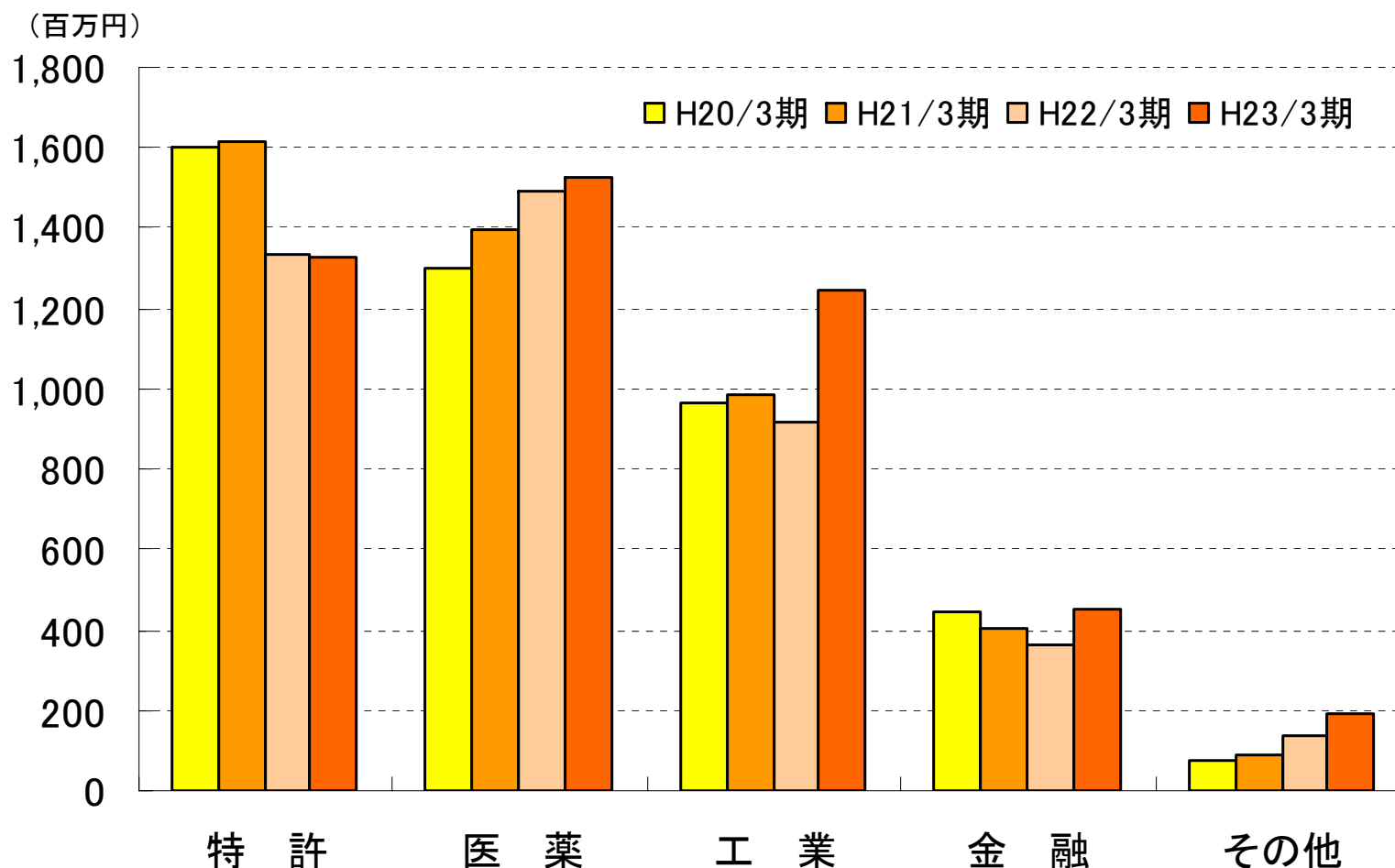
	H22/3期		H23/3期			
		構成比		増 減	伸 率	構成比
特 許	1,337	31.6	1,331	△6	△0.4	28.0
医 薬	1,488	35.1	1,528	39	2.6	32.1
工 業	914	21.6	1,249	335	36.6	26.3
金 融	360	8.5	454	93	25.9	9.6
その他	137	3.2	192	55	40.3	4.0
合 計	4,239	100.0	4,756	517	12.2	100.0

② 受注件数

単位: 件、%

	H22/3期		H23/3期			
		構成比		増 減	伸 率	構成比
特 許	10,369	25.4	11,583	1,214	11.7	23.5
医 薬	15,096	36.9	18,424	3,328	22.0	37.3
工 業	11,080	27.1	13,954	2,874	25.9	28.3
金 融	3,665	9.0	4,771	1,106	30.1	9.7
その他	660	1.6	628	△32	△4.8	1.3
合 計	40,870	100.0	49,360	8,490	20.7	100.0

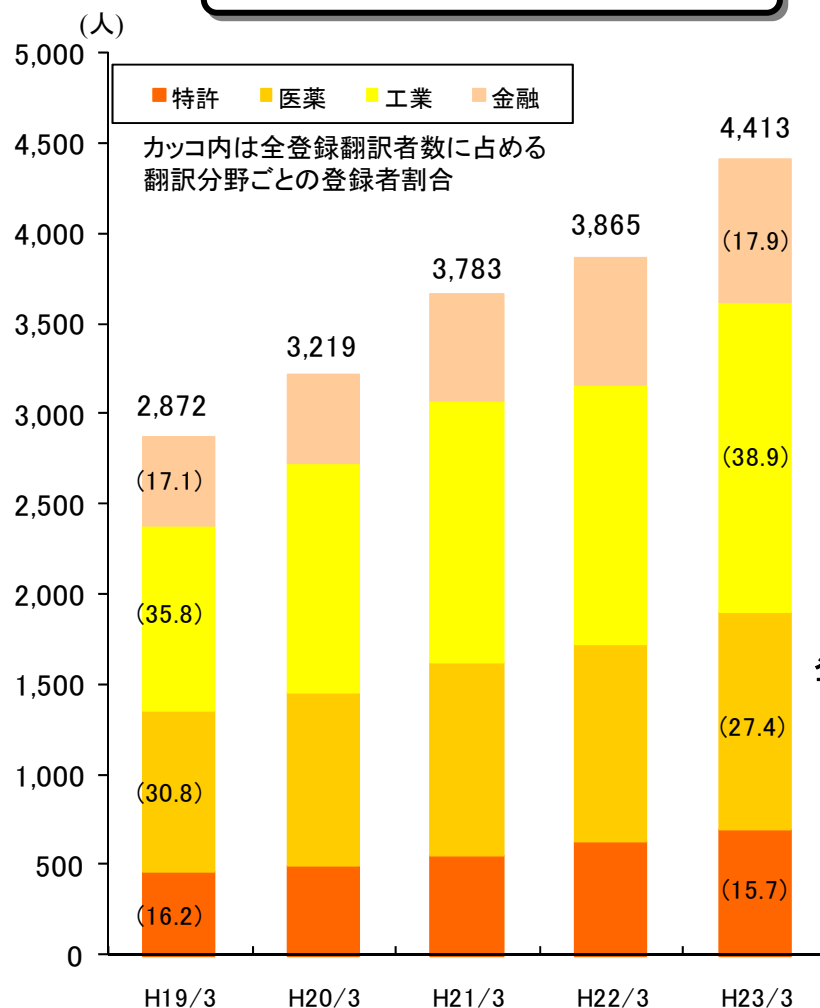
3. 分野別動向



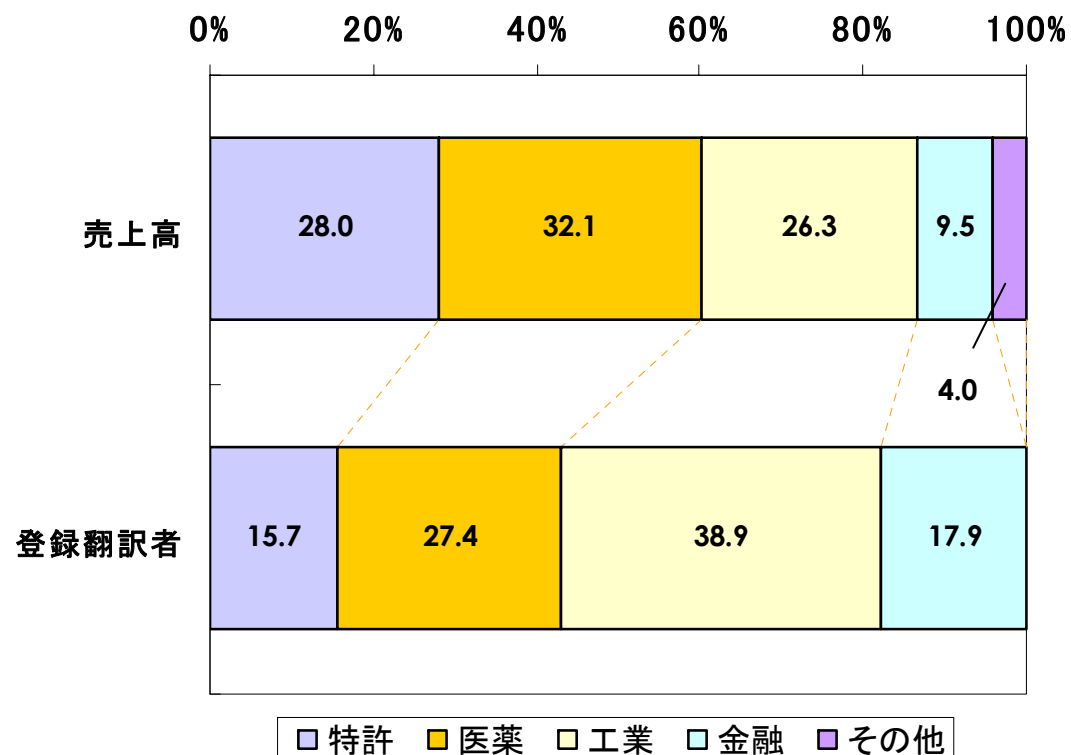
■ 医薬分野は堅調、工業と金融分野は景気後退前の水準に回復

4. 登録翻訳者動向

分野別 登録翻訳者



分野別登録翻訳者割合



5. 損益計算書

単位: 百万円、%

	H22/3期	構成比	H23/3期	増減	伸率	構成比
売上高	4,239	100.0	4,756	517	12.2	100.0
売上原価	2,301	54.3	2,701	399	17.4	56.8
売上総利益	1,937	45.7	2,055	117	6.1	43.2
販売費及び一般管理費	1,700	40.1	1,775	74	4.4	37.3
営業利益	236	5.6	279	42	18.0	5.9
営業外収益	2	0.0	1	0	△11.7	0.0
営業外費用	0	0.0	11	11	—	0.2
経常利益	239	5.6	270	31	13.0	5.7
特別損益	△36	0.8	△5	△ 31	—	0.1
税金等調整前当期純利益	202	4.8	264	62	30.9	5.6
当期純利益	105	2.5	139	34	32.3	2.9

■ 加工費の振替方法の一部変更により、人件費→売上原価へシフト

6. 貸借対照表・キャッシュフロー計算書

単位：百万円

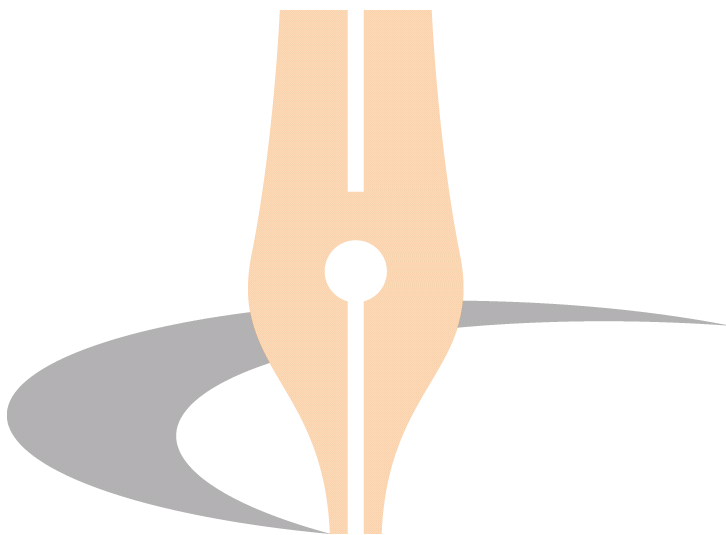
単位：百万円

	H22/3期	H23/3期	増減
(資産の部)			
流動資産	1,940	2,708	767
固定資産	425	411	△14
資産合計	2,366	3,119	753

(負債の部)			
流動負債	582	858	276
固定負債	127	140	13
負債合計	709	999	290
(純資産の部)			
I. 株主資本	1,662	2,127	464
II. その他の包括利益 累計額	△4	△6	△1
純資産合計	1,657	2,120	463
負債純資産合計	2,366	3,119	753

	H22/3期	H23/3期	増減
税金等調整前 当期純利益	202	264	62
営業活動による キャッシュフロー合計	166	359	193
投資活動による キャッシュフロー合計	△51	△251	△199
財務活動による キャッシュフロー合計	△56	319	375
現金及び現金同等物の 増加額	58	427	369
現金及び現金同等物の 期末残高	1,062	1,489	427

Ⅱ．平成24年3月期見通し



1. 概 要
2. 分野別売上高(予想)
3. 損益計算書(予想)

1. 概 要

単位: 百万円、%

	H23/3期	H24/3期 (予)	通期		上期		下期	
			増減	伸率		伸率		伸率
売上高	4,756	5,100	343	7.2	2,350	6.9	2,750	7.4
営業利益	279	280	0	0.0	60	△43.4	220	26.6
経常利益	270	280	9	3.6	60	△38.0	220	26.9
当期純利益	139	140	0	0.2	30	△48.1	110	34.3
一株当たり純利益	8,891	8,311	—	—	—	—	—	—
一株当たり配当金	4,000	4,000	—	—	—	—	—	—

※本文中の百万円未満は、全て切り捨てて表示しております。

※US1ドル=81円で換算しております。

■ 震災影響による発注時期の先延ばしを考慮して、上期を慎重に

2. 分野別売上高(予想)

単位: 百万円、%

	H23/3期		H24/3期			
		構成比	(予)	増減	伸率	構成比
特 許	1,331	28.0	1,390	58	4.4	27.3
医 薬	1,528	32.1	1,640	111	7.3	32.2
工 業	1,249	26.3	1,310	60	4.8	25.7
金 融	454	9.5	480	25	5.6	9.4
その他	192	4.0	280	87	45.2	5.5
合 計	4,756	100.0	5,100	343	7.2	100.0

※本文中の百万円未満は、全て切り捨てて表示しております。

■ その他は外国出願支援サービスを織り込んで増加。医薬は引き続き順調。

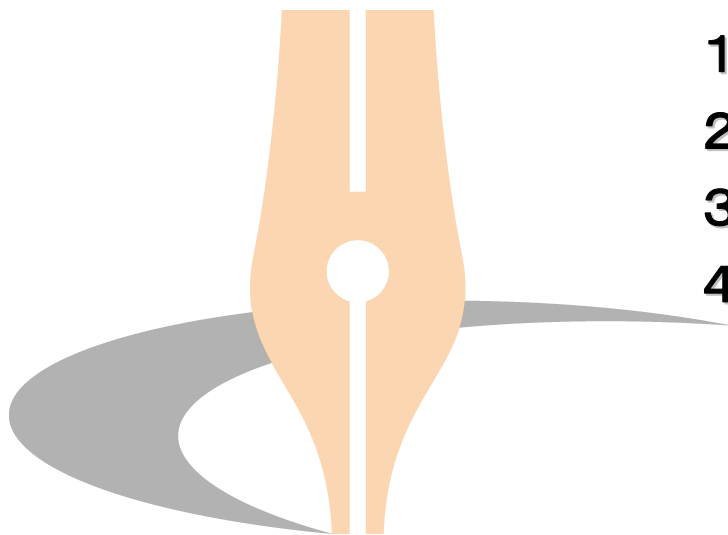
3. 損益計算書(予想)

単位: 百万円、%

	H23/3期	構成比	H24/3期 (予)	増減	伸率	構成比
売上高	4,756	100.0	5,100	343	7.2	100.0
売上原価	2,701	56.8	2,850	148	5.5	55.9
売上総利益	2,055	43.2	2,250	194	9.4	44.1
販売費及び一般管理費	1,775	37.3	1,970	194	10.9	38.6
営業利益	279	5.9	280	0	0.0	5.5
営業外収益	2	0.2	0	△1	—	—
営業外費用	11	0.0	0	△11	—	—
経常利益	270	5.7	280	9	3.6	5.5
当期純利益	139	2.9	140	0	0.2	2.7

■ 新規事業(外国出願支援サービス、ローカライズ)への投資により、
販管費が増加

Ⅲ. 重点施策



1. 重点施策
2. 営業拠点の拡充
3. 株主還元
4. まとめ

1. 重点施策

- (1)「翻訳プラットフォーム」の構築
- (2)米国子会社の収益拡大
- (3)エムスリー(株)との資本・業務提携
- (4)ローカリゼーション／マニュアル翻訳への進出
- (5) (株)外国出願支援サービスの本格化

1. 重点施策 (1) 翻訳プラットフォームの構築

The screenshot displays the Honyaku Center translation platform interface, which is integrated with Microsoft Word. The interface includes several key components:

- Microsoft Word:** The background application showing a document with Japanese text. A yellow box highlights the text "翻訳センターは翻訳サービスです。" (Honyaku Center is a translation service).
- 10ABC1234 - HC TraTool:** The main application window with multiple panes.
 - 対訳編集* (Bilingual Editing):** Shows the original text (原文) and the translated text (訳文) side-by-side. A yellow box points to the text "翻訳センターは翻訳サービス業のリーディング・カンパニーとして、さらなる成長を目指します。" (Honyaku Center is a leading company in the translation industry, aiming for further growth).
 - 用語一覧 (Glossary):** A list of terms and their translations. A yellow box points to the entry "Honyaku Center 株式会社翻訳センター" (Honyaku Center Co., Ltd. Translation Center).
 - 対訳比較結果 (Bilingual Comparison Results):** A section at the bottom showing the original text (原文), the comparison text (比較TM), and the translated text (訳文).

Four yellow callout boxes highlight specific features:

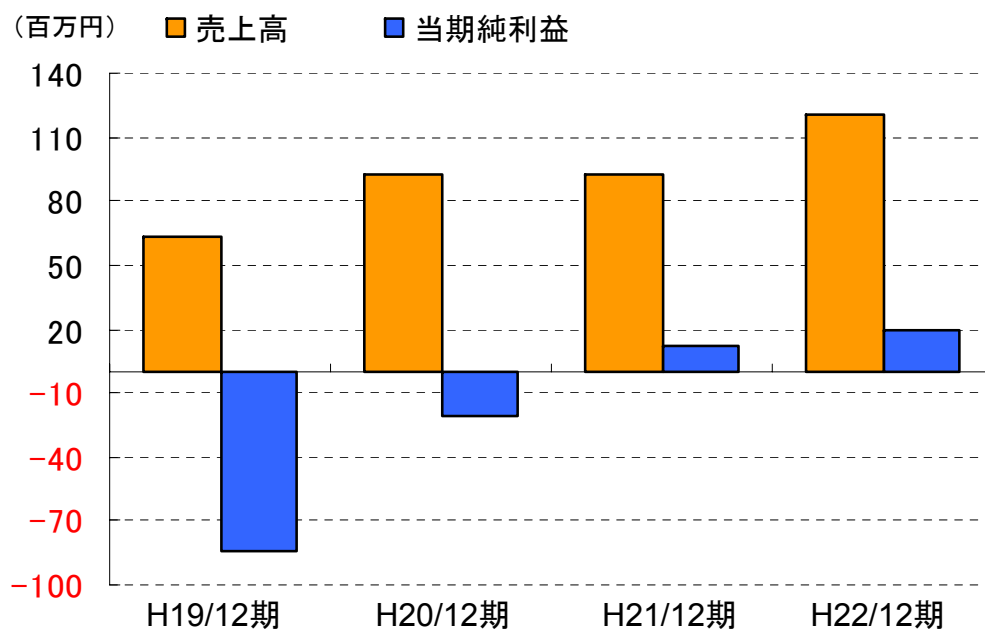
- 統一用語間違いを自動で通知** (Automatically notify of uniform terminology errors): Points to the glossary pane.
- 3種類の辞書ごとに色分けで表示** (Display in color for each of the 3 types of dictionaries): Points to the glossary pane.
- 対訳比較機能** (Bilingual comparison function): Points to the comparison results pane.
- 翻訳作業中箇所をハイライトで分かりやすく表示** (Display translation work areas clearly with highlights): Points to the highlighted text in the Microsoft Word document.

A yellow box at the bottom left states: **参考対訳・セルフ文書内を自動でサーチ。一致率に応じた作業効率化を実現** (Automatically search for reference bilingual and self-document. Achieve work efficiency improvement according to the matching rate).

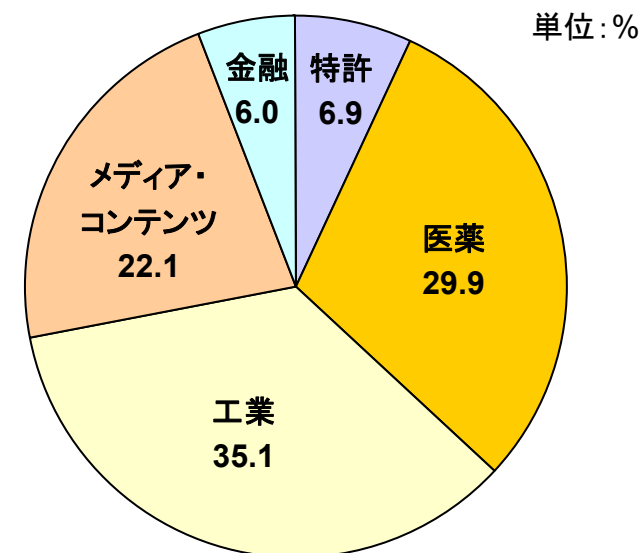
■ 翻訳の品質向上と作業の効率化を目指す

1. 重点施策 (2)米国子会社の収益拡大

業績推移



H22/12期 分野別売上高構成比



- 売上・利益とも大幅増により、グループ業績に貢献
- メディア・コンテンツに加え、主力4分野での売上高がさらに拡大

1. 重点施策 (3)エムスリー(株)との資本・業務提携

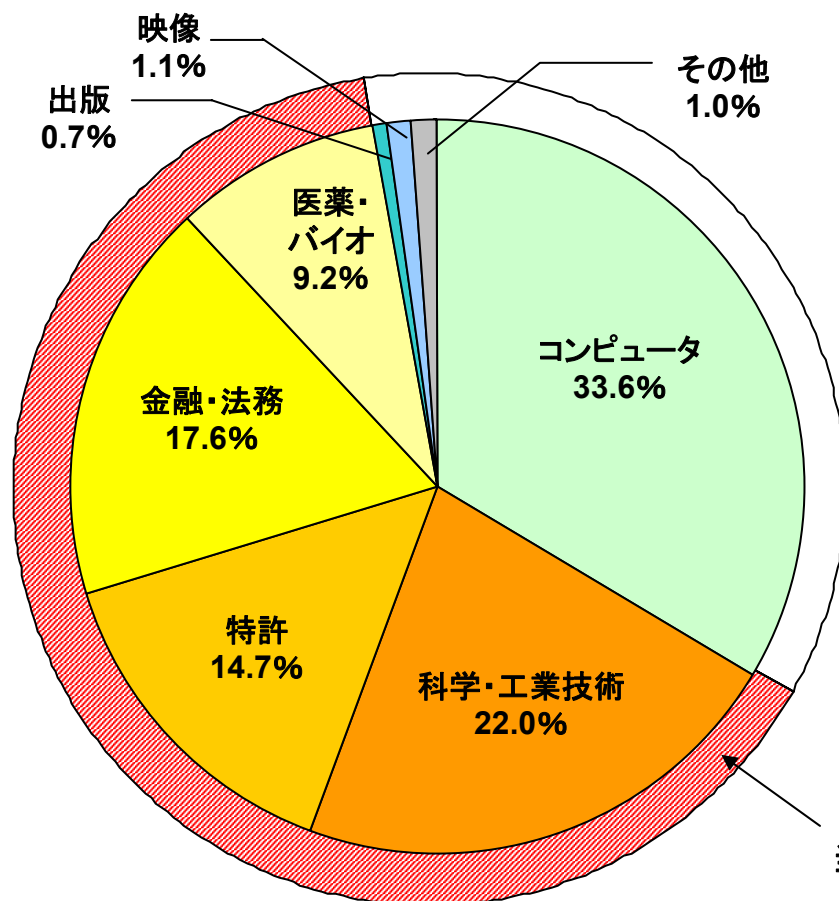
エムスリー「m3.com」

当社「医学論文サイト」(m3.comとリンク)

- アクセスしにくい医学論文翻訳市場への販路を確保
- H23年期末時点でのHC登録医師会員は約48,000人

1. 重点施策 (4)ローカリゼーション／マニュアル翻訳への進出

翻訳の取扱分野 調査結果



■ 600億円市場への参入

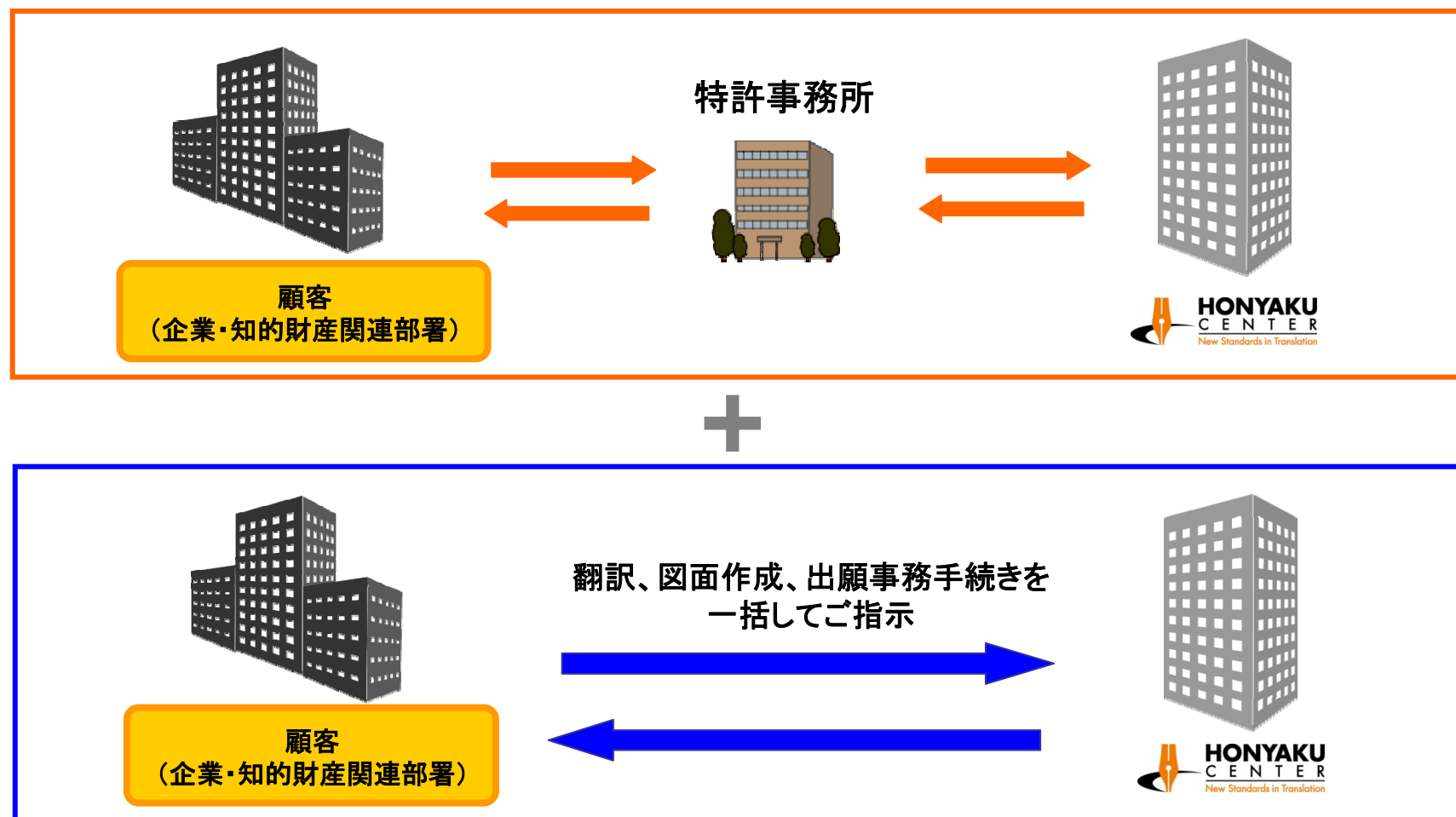
- ・英語→日本語
- ・外資系システムベンダー
- ・価格環境は厳しいが、市場規模は大きい



H22年10月にプロジェクトチームを発足、制作体制を強化

出典：日本翻訳連盟「翻訳白書 2008年度」

1. 重点施策 (5)(株)外国出願支援サービスの本格化



■ 特許業界の構造変化に対応するために(株)外国出願支援サービスを設立

2. 営業拠点の拡充

福岡営業所の開設

【営業所概要】

名称: (株)翻訳センター 福岡営業所(大阪営業部付)

所在地: 福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目6番12号

オヌキ博多駅前ビル6階

営業所長: 花田 仁(大阪営業部長兼任)

人員: 3名(所長含む)

営業区域: 九州ならびに沖縄地域

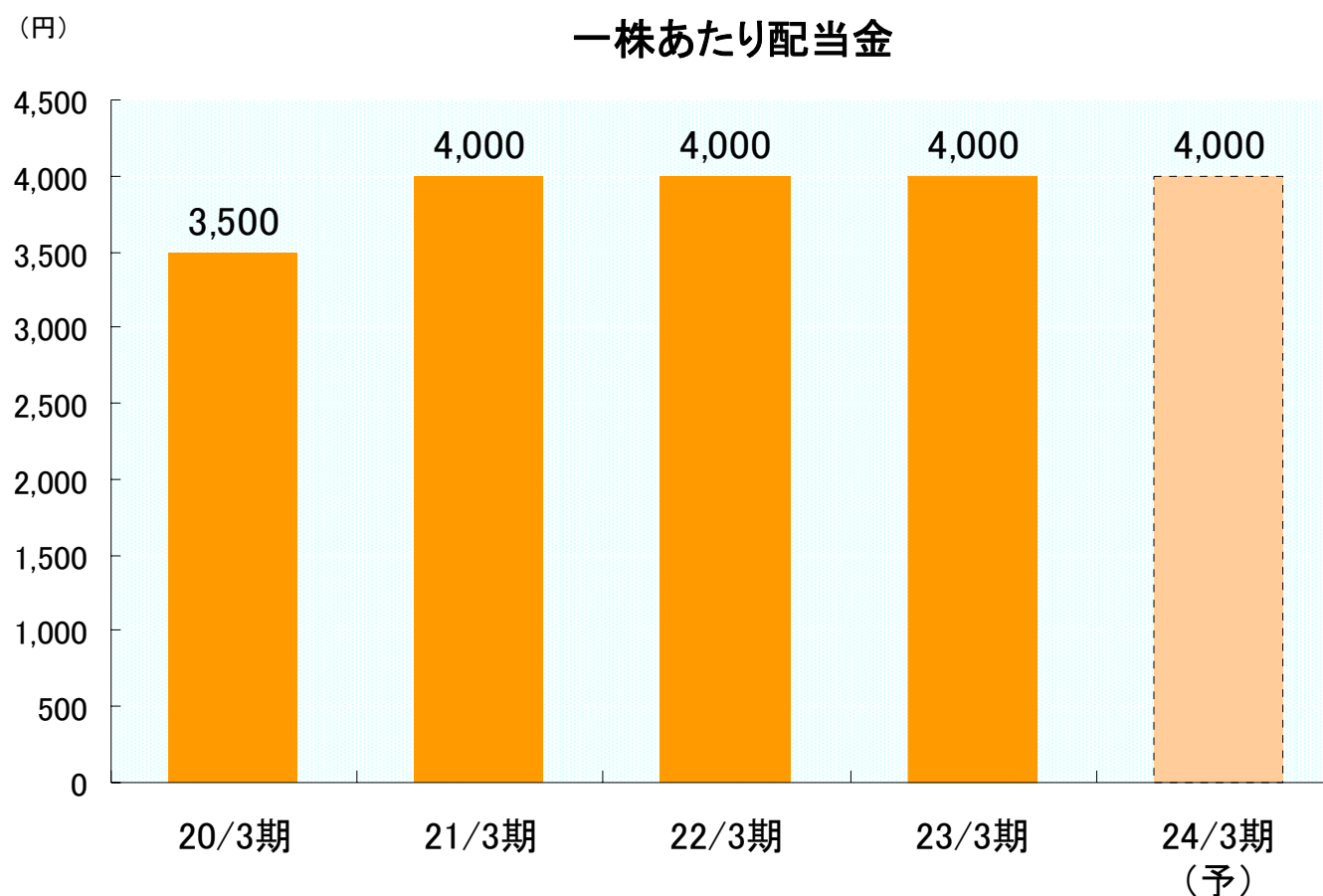
営業開始日: 平成23年5月16日(月)

【開設理由】

昨今の九州・沖縄地域における翻訳需要拡大に伴い、
さらなる営業強化と拡販のため

3. 株主還元

安定・継続的な増配を目標としてまいります



4. まとめ

■ 主要4分野のさらなるシェア拡大

■ HC TraToolなどの翻訳システム導入の普及促進

■ さらなる成長に向けた事業展開と高付加価値化への取り組みを強化